




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 3UA

1 609 92A 3UA (2017.08)

コードレスニブラ (本体のみ) GNA 18V-16H



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスニブラをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
コードレス工具全般についての注意事項	2
コードレスニブラについての注意事項	9
充電器についての注意事項	14
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	15
●本製品について	
用途	16
各部の名称	16
仕様	17
標準付属品	18
使用可能バッテリー・充電器（別売）	18
●使い方	
バッテリー（別売）を準備する	19
作業前の準備をする	22
作業する	23
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	27
修理を依頼するときは	28
●お手入れと保管	
クリーニング	29
パンチとダイを交換する	29
保管	31

ご安全上
注意の

のリサイク
ルのため
に

本製品
について

使
い
方

困
っ
た
と
き
は




お
手
入
れ
と
保
管

安全上のご注意

ご安全 注意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスニブラには、当てはまらない項目も含まれています。

 危険

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

ご安全
注意の
意の

工具体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

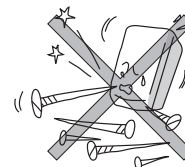


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

 **警告**

ご安全
注意の

1. 正しく充電してください。

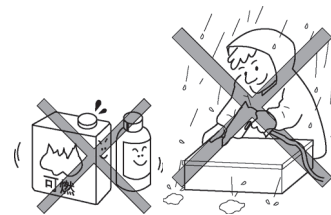
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

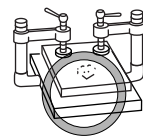
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



ご安全
注意の

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。


- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

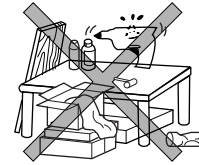
12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

 **注 意**

ご安全
注上の
意の

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人は、使用しないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

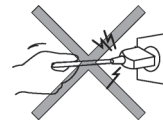


7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

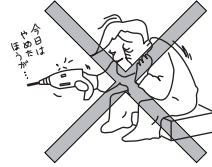
- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

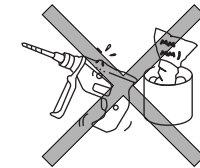
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。



14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレスニブラについての注意事項

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ニブラをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
上
意の

警告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合った電動工具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていない電動工具の使用は、事故やけがの原因となります。
2. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、ニブラ本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
3. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
 - ◆ 発煙・発火の原因になります。
4. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。
 - ◆ 操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
5. この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリー以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリー以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
6. 使用直後のパンチ・ダイ・ホルダー等は熱くなっていますので、交換する場合は、十分に冷えてから行ってください。
 - ◆ 不用意に触れるとやけどの原因になります。

7. アクセサリー類は手入れをし、鋭利さを保ってください。

- ◆ 刃物が鋭利だとストレスなく、電動工具をコントロールできます。

8. 使用に問題がないことを確認してください。

取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各部品の損傷がないか、その他問題がないかチェックしてください。損傷などがあった場合は使用せず、修理をご依頼ください。

- ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
- ◆ 損傷した電動工具を使用すると、故障や思わぬ事故の原因になります。

9. 加工材料は確実に固定してください。

- ◆ 確実に固定されていないと、けがの原因になります。

10. ニブラ本体を万力などで固定して使用しないでください。

- ◆ けがの原因になります。

11. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ずスイッチが「切」になっていることを確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、ニブラ本体を持ち運んだりしてください。

- ◆ スイッチが「入」状態でニブラ本体に通電したりスイッチ部分に指が触れたりすると、事故の原因になります。

12. 使用中は、ニブラ本体を確実に保持してください。


- ◆ 確実に保持していないと、振り回されたりし、けがの原因になります。

13. 使用中は必ず、保護手袋を着用してください。また、必要に応じて、保護メガネや防じんマスク、防音保護具（耳栓など）、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、作業用エプロンを着用してください。

- ◆ 切りくずや切断面は鋭利になっていますので、手袋を着用しないで触れると、けがの原因になります。
- ◆ 防護用具を着用することで、けがの防止につながります。

14. 雨中での作業は行わないでください。また、ニブラ本体を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。
 - ◆ 感電の恐れがあります。
15. 可燃物の近くでニブラを使用しないでください。
 - ◆ 火花で可燃物が発火する恐れがあります。
16. 使用中は、切断部や切りくずの排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
17. 切断直後の切りくずは、熱くなっていますので、絶対に触れないでください。
 - ◆ 不用意に触れますとやけどの原因になります。
18. 使用中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。
 - ◆ 気が散ると集中できなくなります。
19. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、けがの原因になります。
20. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類やニブラ本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
21. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、ニブラ本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、ニブラ本体に支障をきたすばかりでなく、ニブラ本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

22. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。
- 蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者¹の診断を受けてください。
- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
23. バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師²の治療を受けてください。
- ◆ バッテリーから漏れた液は炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
24. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、調整・付属品の交換・保管をするときは、必ずニブラ本体からバッテリーを取り外してください。
- ◆ バッテリーを取り付けたままにすると、けがの原因になります。
25. 使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。また、ニブラの取り扱いや手順に不慣れな人には操作させないでください。
- ◆ 教育を受けていない人の操作は大変危険です。
26. バッテリーを開けないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。
27. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。
- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
28. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。
- ◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。

 注 意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 作動部が止まるような強い力を本機に与えないでください。
 - ◆ 故障の原因になります。
3. 作業直後の先端工具や切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
4. 切りくずがニブラ本体の中に進入しないようにしてください。
 - ◆ ニブラ本体の故障や事故の原因となります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料やニブラ本体などを落としたとき、事故の原因になります。
6. ニブラ本体を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
7. ニブラ本体を切りくずの上に置かないでください。
 - ◆ 故障や事故の原因になります。

ご安全
注上
意の

充電器についての注意事項

ご安全
注意の

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

警告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適合した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
3. やむを得ず、湿気が多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
4. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
5. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
6. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
7. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 火災の恐れがあります。
8. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

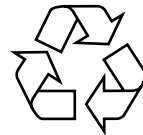
リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポツシユは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシユ電動工具取扱店、ポツシユ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
た
め
に

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。
ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

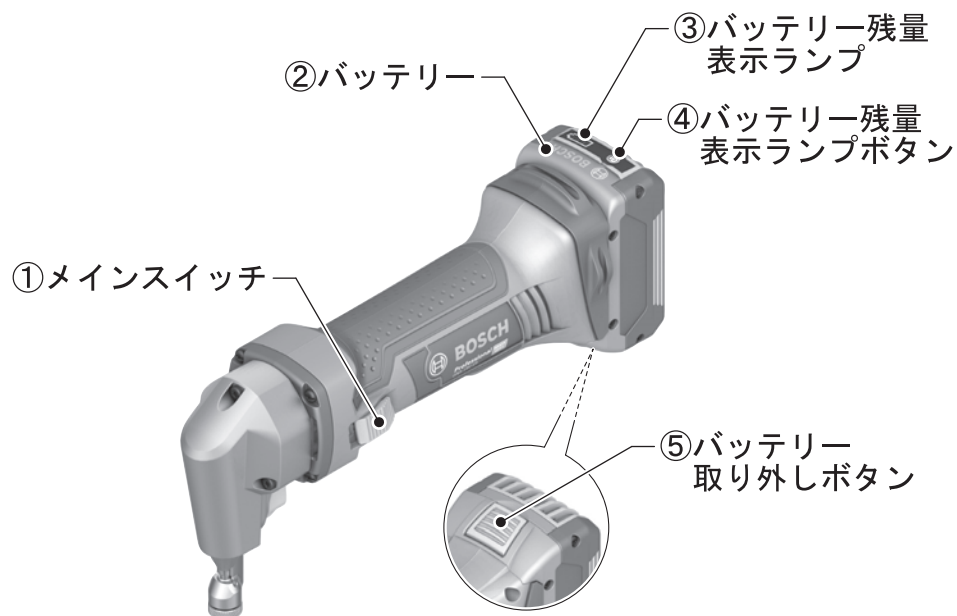
用途

- ◆ 金属板の直線・曲線切断
- ◆ 金属板の中抜き切断

※ 狭い曲線の切断に適しています。

各部の名称

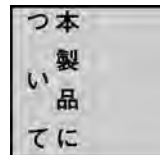
本製品について



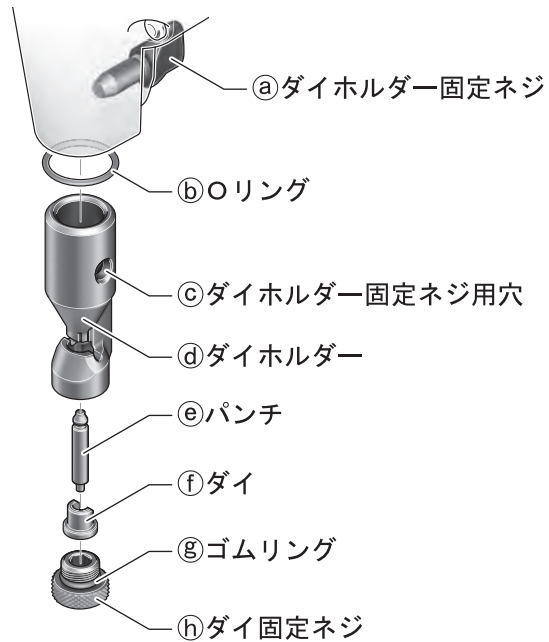
◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様	
品 番	GNA 18V-16H
定格電圧	DC18V
無負荷ストローク数	1400min ⁻¹ (回/分)
切断能力 鋼 板 *	1.6mm
パンチ径	5mm
最小切断半径	40mm
質 量	2.2kg (5.0Ah バッテリー装着時) (EPTA プロシージャ 01/2014 準拠)
原産国	ドイツ

* 鋼板を基準にして 400N/mm²

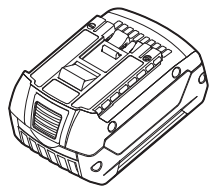


標準付属品

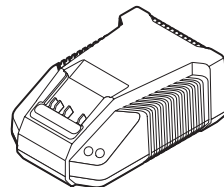


本
製
品
に
つ
き
ま
り
ま
す

使用可能バッテリー・充電器 (別売)



リチウムイオンバッテリー
18V



専用充電器

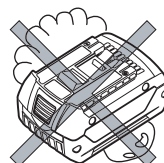
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

バッテリー（別売）を準備する

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？



● バッテリーを充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- ☞ リチウムイオンバッテリーは、バッテリーの寿命を縮めることなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。
- ☞ バッテリー残量表示ランプ付きのバッテリーでは、充電状態をバッテリー残量表示ランプ③で確認することができます。



危険

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー②を充電してください。



警告

- ◆ バッテリー②が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
- ◆ 電源に 100V が確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは必ず事前に確認してください。
- ◆ バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー②を差し込みます。
充電が始まります。
3. 充電が終わったら、バッテリー②を充電器から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- ☞ バッテリー②は、出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリー②をフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
- ☞ 本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。
ニブラ本体が過負荷になった場合やバッテリー②が過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のためにニブラ本体が自動的に停止します。
- ☞ 電子セル保護システム（ECP機能）が作動して、ニブラ本体が自動的に停止したときは、必ず「メインスイッチ①」を“切”にしてください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー②の寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリー②と交換してください。

● バッテリーを取り付ける・取り外す



警告

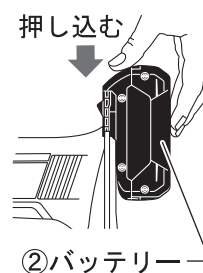
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ①」が“入”になっていないことを確認し、「メインスイッチ①」に触れないように注意してください。

取り付け

取扱説明書に指定してあるバッテリー②を取り付けてください。

バッテリー②を、ニブラ本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

- ☞ 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑤」が押されただけではバッテリー②が外れないよう、バッテリー②の取り付けが二重ロックになっています。

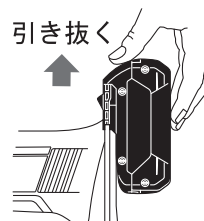
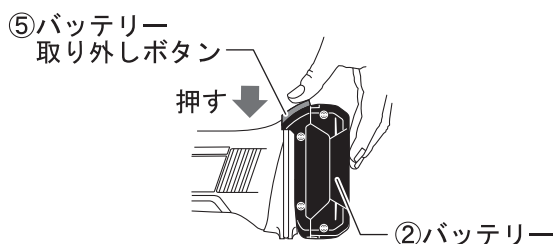


注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。


取り外し

「バッテリー取り外しボタン⑤」を押しながら、バッテリー②を引き抜きます。



使
い
方


作業前の準備をする

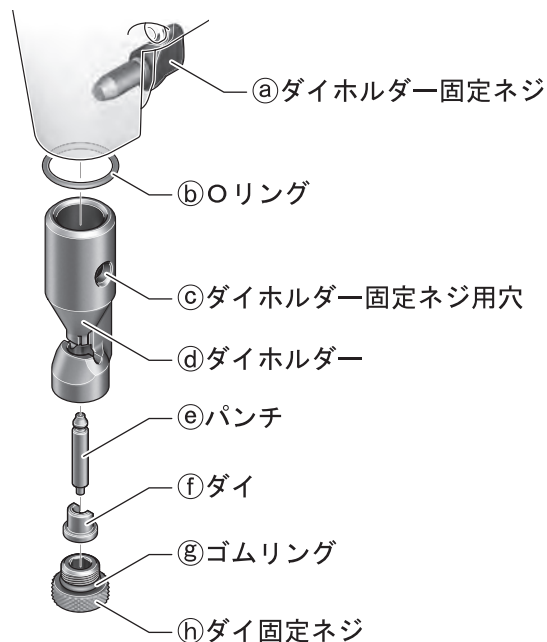
-  **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、バッテリー②をニブラ本体から取り外してください。

● 切断方向を変更する

作業に適した方向に、ダイホルダー④の向きを変えます。

 後方に向かって（機械のハウジングに向かって）切断することはできません

1. ダイホルダー固定ネジ③を、ダイホルダー④が回せるまで緩めます。
2. ダイホルダー④を回して位置を決めます。
ダイホルダー固定ネジ③がダイホルダー固定ネジ用穴⑤に挿入できる位置で、位置決めします。
 ダイホルダー④は、90°ごとに3箇所固定できます。
それ以外の箇所固定しようとすると、ダイホルダー固定ネジ③が最後まで締まりません。
3. ダイホルダー固定ネジ③を締めて、ダイホルダー④を固定します。



1 パンチとダイに注油する

パンチ⑥とダイ⑦に潤滑油（市販品）を注油します。

 パンチ⑥とダイ⑦は、3時間ごとに清掃し潤滑油を注油してください。

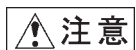
2 ニブラ本体にバッテリーを取り付ける



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ①」が“入”になっていないことを確認し、「メインスイッチ①」に指を掛けないように注意してください。

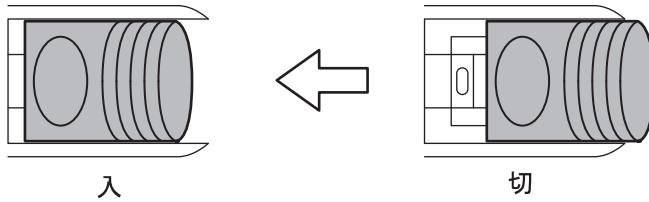
バッテリー②をニブラ本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。



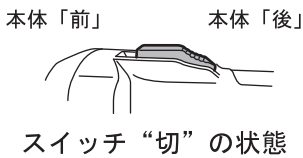
注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、バッテリー③が確実に取り付けられているか確認してください。

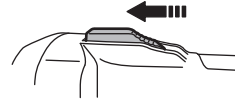
3 「メインスイッチ」を“入”にする



1. 「メインスイッチ①」をニブラ本体の先端方向にスライドさせます。

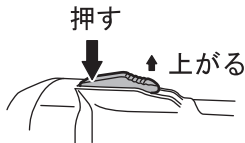


本体の先端方向に
スライドさせる



☞ この時点では「メインスイッチ①」は固定されていません。スイッチから指を離すと“切”の位置に戻り、停止します。

2. 「メインスイッチ①」の先端をニブラ本体に押し込みます。
→スイッチが“入”に固定され、連続運転します。



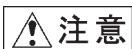
☞ 「メインスイッチ①」は、加工材に当たらない位置で“入”にしてください。

本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついています。ニブラ本体が過負荷になった場合やバッテリー②が過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のためにニブラ本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

ニブラ本体が自動的に停止したときは、「メインスイッチ①」を“入”にし続けしないでください。“入”にし続けると、故障の原因になります。

4 作業する



注意

◆ 切断した材料の切り口でけがをしないよう、注意してください。

切断した材料の切り口は、鋭利になっています。

◆ 切りくずの先端でけがをしないよう、注意してください。

切りくずの先端は、鋭利になっています。

☞ 「メインスイッチ①」を「入」にして、モーターの回転が上昇してから切断を開始してください。

材料をパンチ⑥とダイ⑦の間に入れ、ニブラ本体を軽く切断方向へ押し進めながら切断します。

☞ 無理に押し進めないでください。

過度に荷重をかけると、故障の原因になります。

☞ パンチ⑥とダイ⑦が切断材料に対して垂直になるようにニブラ本体を保持し、作業してください。

☞ 切断中、ニブラ本体をわずかに持ち上げると、より静かに動作します。

☞ 切断中にパンチ⑥が詰まるときは、パンチ⑥に潤滑油を塗布してください。無理に切断作業を続けると、パンチ⑥とダイ⑦が損傷します。

☞ 鉄鋼板などの材料を切断するときは、切断する箇所の表裏に切削油を塗布してください。

☞ 切断能力は、切断材料の強度が影響します。

材料を変形させないで切断できる板厚（参考）

材 料	強 度（最大）	板厚（最大）
鋼 板	400N/mm ²	1.6mm
	600N/mm ²	1.0mm
	800N/mm ²	0.7mm
アルミニウム	200N/mm ²	2.0mm

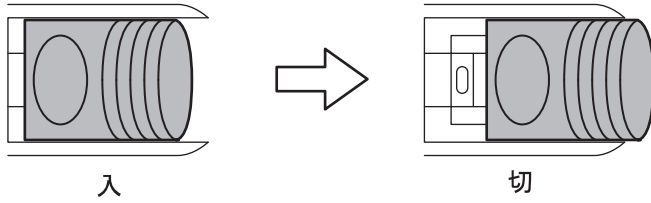
☞ け書き線を利用して切断すると、直線の切断が容易に行えます。

☞ テンプレートを利用すると、正確に切断できます。

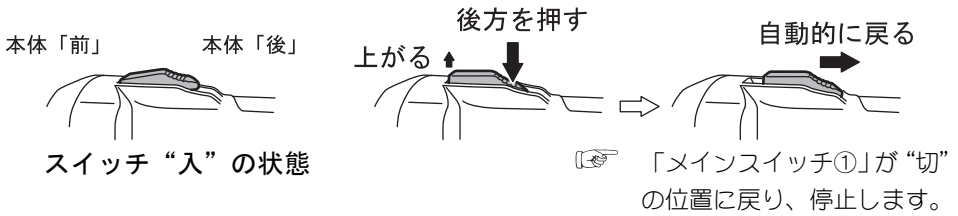
☞ 中抜き作業をするときは、あらかじめ 21 mmφの下穴をあけておく必要があります。

5 作業を終了する

「メインスイッチ①」を“切”にして、作業を終了します。



1. 「メインスイッチ①」の後方を押します。
→スイッチが“切”の位置に自動的に戻り、停止します。



困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ①」を“入”にしても動かない	バッテリー②が消耗している	バッテリー②を充電するか交換する
充電してもフル充電しない、または、フル充電しても使用時間が短い	バッテリー②の寿命が尽きた	バッテリー②を交換する
切断能力が低下した	パンチ㊟またはダイ㊦が摩耗している	パンチ㊟またはダイ㊦を交換する
	パンチ㊟またはダイ㊦が欠けている	パンチ㊟またはダイ㊦を交換する

- ◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9：00～午後6：00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



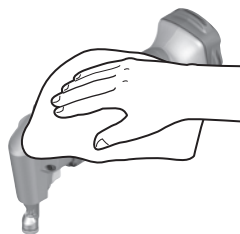
警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー②を本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

- パンチとダイに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

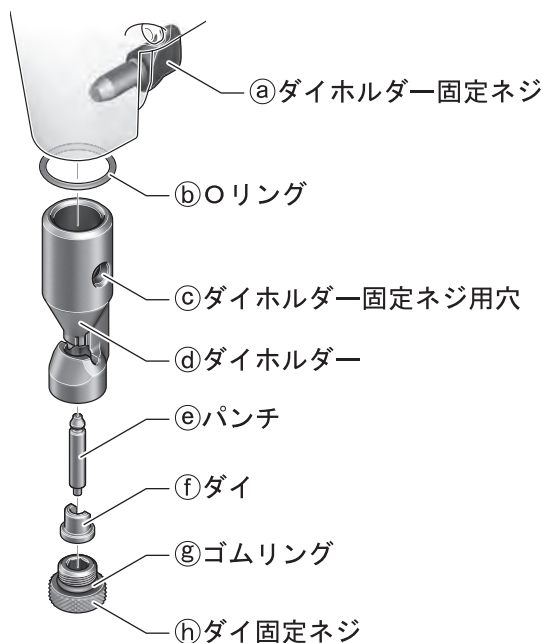
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



パンチとダイを交換する

切れ味が悪くなったら、パンチ⑤とダイ⑥を交換してください。

- ☞ パンチ⑤とダイ⑥は、新品と交換してください。
- ☞ パンチ⑤とダイ⑥は、再研磨しないでください。

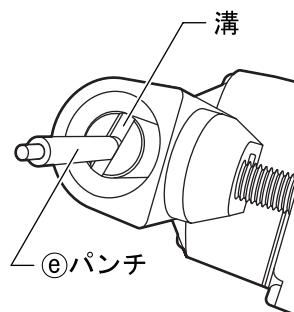


保
お
手
入
れ
と
管

● パンチを交換する

下記の手順で、パンチ⑥を交換してください。

1. ダイホルダー固定ネジ③を緩めて、ダイホルダー④をニブラ本体から取り外します。
 - ☞ ニブラ本体には、パンチだけ残ります。
 - ☞ ダイホルダー④と一緒に、Oリング⑤も外れます。
2. パンチ⑥を溝に沿ってスライドさせ、引き抜きます。
3. 新しいパンチ⑥にグリスを塗布し、溝に差し込み、中心を合わせます。
4. Oリング⑤とダイホルダー④をニブラ本体に差し込み、取り付け位置を決めます。
(22 ページ「切断方向を変更する」参照)
5. ダイホルダー固定ネジ③を締めて、ダイホルダー④を固定します。



● ダイを交換する

下記の手順で、ダイ⑦を交換してください。

1. ダイ固定ネジ⑧を六角棒レンチで緩めて、取り外します。
2. ダイ⑦を取り外します。
3. ダイホルダー④が汚れているときは、ダイホルダー④を清掃します。
4. グリスを塗布した新しいダイ⑦を、ダイホルダー④に差し込みます。
 - ☞ 平らな面が揃うように注意してください。
5. ゴムリング⑨がダイ固定ネジ⑧に取り付けられていることを確認し、ダイホルダー④にねじ込みます。
6. 六角棒レンチでダイ固定ネジ⑧を締めて、ダイ⑦を固定します。
 - ☞ ゴムリング⑨の抵抗 (3-4Nm) に適した力でネジを締めてください。

● ニブラを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
特に、バッテリーは 50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性の高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープをはってください。

